

- 管内 渡島管内
- 分類 通学路の点検 交通安全教室 安全教育 その他（ ）
- 教育課程 教科（ ）科 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 全国共済農業協同組合連合北海道本部、北海道警察函館方面本部交通課と連携した交通安全教室の実施
- プロのスタントマンによる交通事故の再現による実感を伴った理解

取組の実際

ねらい

- 交通事故を再現することにより交通事故の恐さを実感させ、交通ルール遵守の重要性の再認識と交通安全意識の向上を図る。

内容

交通安全教室の実施

本校では、関係機関と連携し、交通事故の再現による恐さを体験し安全意識の向上を図る方法（スクエアード・ストレイト技法）による交通安全教室を実施している。

スタントマンによる交通事故の再現

交差点での自転車と自動車の衝突事故や2人乗り自転車による衝突事故など、実際に起こった交通事故をプロのスタントマンが再現した。

特に、傘や携帯電話を片手に持ちながら自転車に乗って起こる交通事故の再現は、生徒の日常に起こりうる事故事例として設定した。

体験したことを振り返る学習活動

交通事故の再現を見て感じたことをワークシートに記入し、自分自身の日常の交通安全について振り返る活動を行った。

また、生徒会による交通安全宣言を行い、自転車の安全な利用について生徒の安全意識の向上を図った。



【自転車同士の事故場面の再現】



【交差点での衝突事故の再現】

- 生徒の感想
- ・ 今回の交通安全教室に参加して、ルールを守らないと本当に命に関わるような事故に巻き込まれるということがよく分かりました。
 - ・ 実際に過去にあった衝突事故の場面だったので、片手で自転車に乗ることがとても危険だと分かりました。今日学んだことを家族にも伝えて事故のないようにしようと思いました。
 - ・ 自転車で通学していますが、安全に対して気を付けているつもりでも、どうしても慣れて油断してしまうことがあるので、油断しないように交通安全に心がけたいと思いました。

成果と課題

- 実際に交通事故の再現を見た生徒は、予想以上の大きな衝撃音や跳ね飛ばされる人の姿から交通事故の恐さを実感し、交通安全への意識の向上を図ることができた。
- 安全教育の充実に向けて、各関係機関や家庭・地域と連携し、交通安全教室の取組を毎年継続して実施する必要がある。